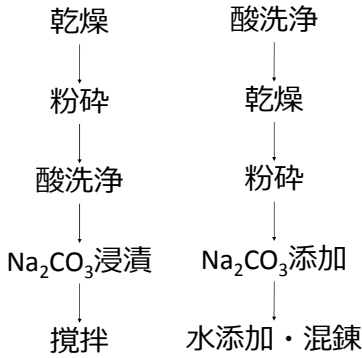
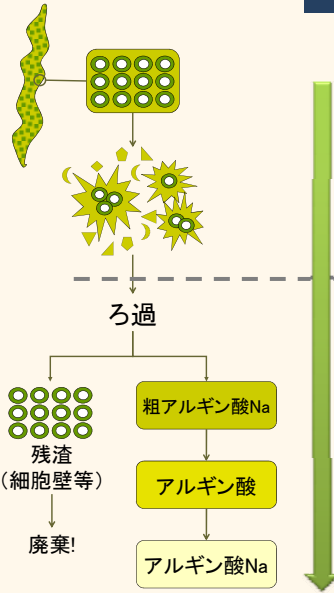


製造工程



- ◆ 酸洗浄: 灰分除去と組織軟化
- ◆ Na₂CO₃添加: 組織内アルギン酸の溶出(凝集剤内には留まります)



海藻凝集剤の製造工程はここまでです。

→ 工程は極めて簡便です。

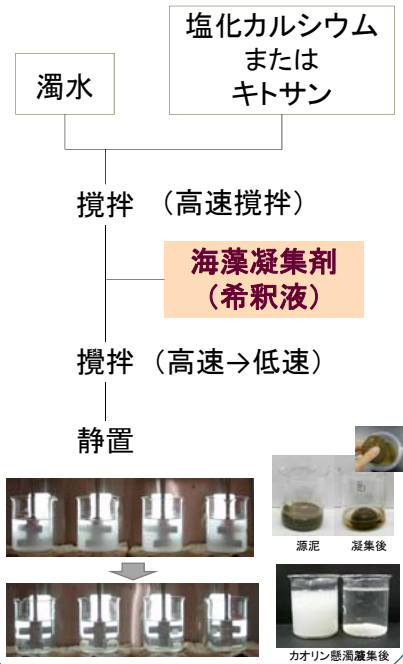
→ 細胞壁成分は「重り」となって、凝集物の沈降を促進します。通常のアルギン酸の製造工程では、ろ過と精製が繰り返されます。

従って海藻凝集剤製造プロセスは・・・

- ◆ ろ過も精製も必要ありません
- 有機溶媒を使用しません
- ◆ 二次廃棄物を発生しません

使用方法

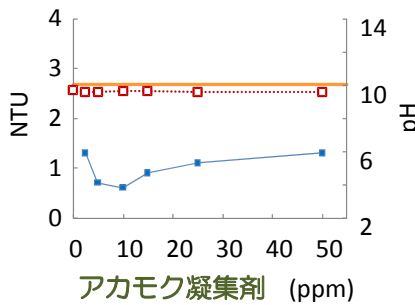
※ 一般のアニオン系高分子凝集剤と同様です



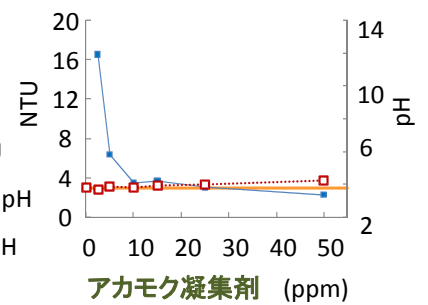
pHの影響とpH変化

【海藻凝集剤による懸濁水の凝集処理】 CaCl₂: 200ppm

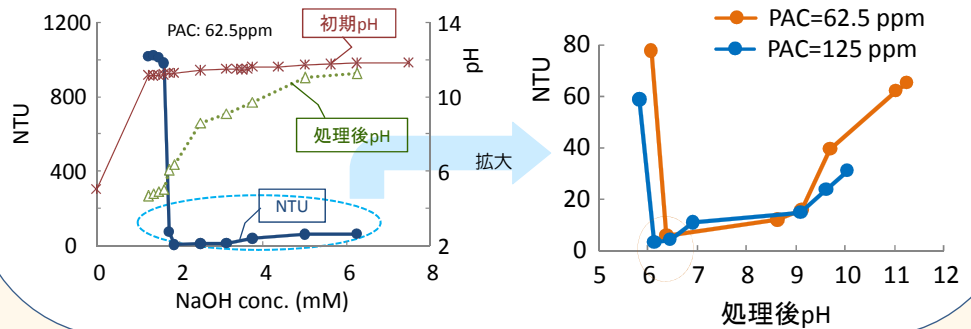
A) 2,000 ppm ベントナイト濁水



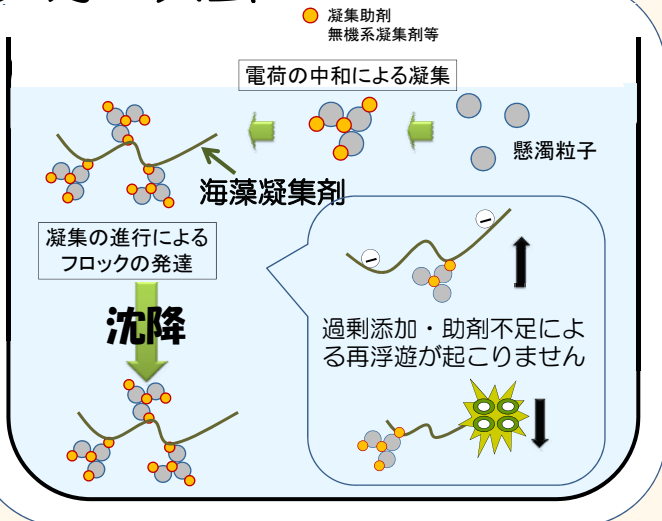
B) 20,000 ppm カオリン濁水



～比較【PACによるカオリン懸濁水の凝集処理】 カオリン: 1.000ppm



メカニズム



アルギン酸よりも高い性能

- 高い懸濁粒子除去率
- 過剰添加による濁度上昇: 無

